蔵衛門御用達2020 Professional限定機能

「蔵衛門 出来形管理」ファーストガイド

【ご注意】

・出来形管理のバックアップファイルはドラック＆ドロップでは作成/読み込みはできません。
　必ずメニューシートよりバックアップの作成/読み込みをおこなってください。
・工事写真台帳の本棚バックアップでは出来形管理の本棚は一緒にバックアップされません。
　出来形管理の帳票は必ず出来形管理本棚でバックアップしてください。
・出来形管理本棚は『安心クラウドバックアップ』の対象外です。

もくじ

ここでは、『蔵衛門出来形管理』の基本的な操作方法についてご案内します。
ご不明点がございましたら、お気軽に「くらえもん☆オンライン」サポート窓口までご連絡ください。

01 はじめに

蔵衛門出来形管理でできること ……03

本棚画面の説明 ……04

帳票画面の説明 ……05

メニューシート画面の説明 ……06

豆図CAD画面の説明 ……07

帳票CAD画面の説明 ……08

02 帳票を書く

工事を作成する ……09,10

ファイルブックを作成する ……11

帳票を設定する ……12,13

豆図を設定する ……14,15

設計値・実測値を入力する ……16,17

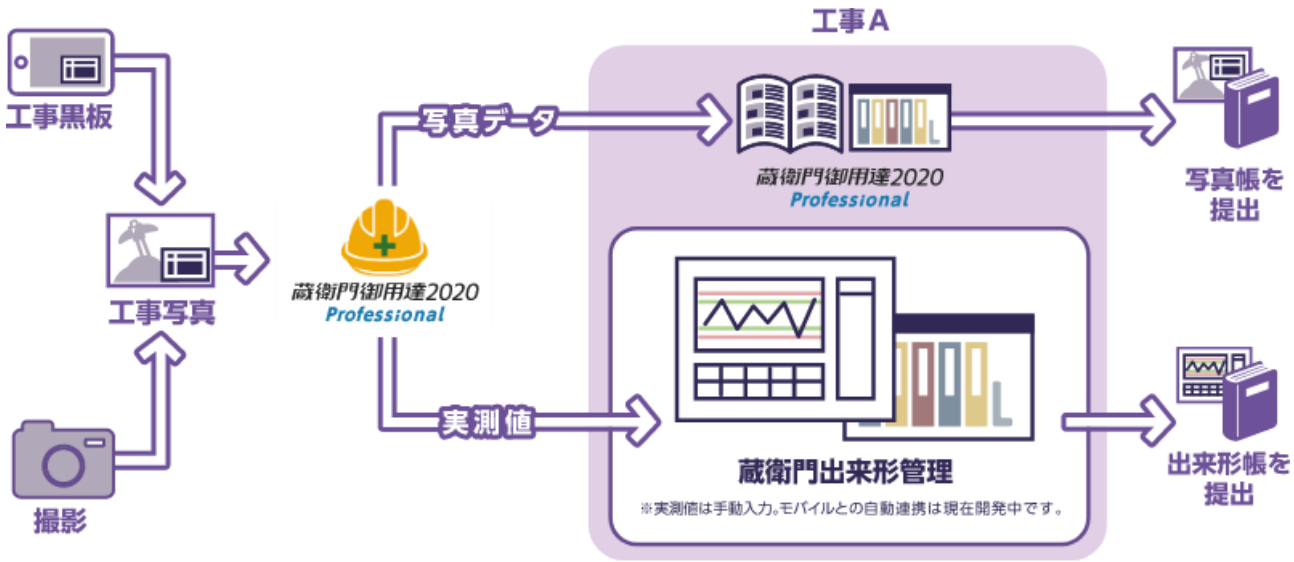
【応用】豆図CADで豆図を編集する ……18,19

【応用】帳票CADで帳票を編集する ……20,21

蔵衛門出来形管理でできること

『蔵衛門出来形管理』は工事写真台帳とあわせて出来形管理帳票が管理できる機能です。
Excelでマクロを組む必要がなく、設計値や規格値を入力すれば簡単にグラフで表現することができます。
また、簡易CADでテンプレートの豆図や帳票を編集できる便利な機能もあります。

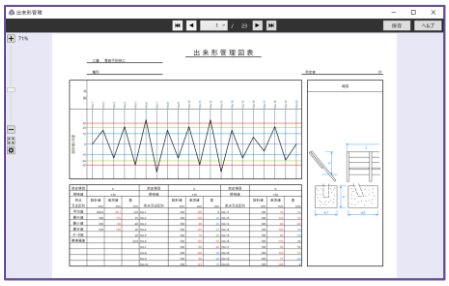
■蔵衛門出来形管理を使用した業務の流れ



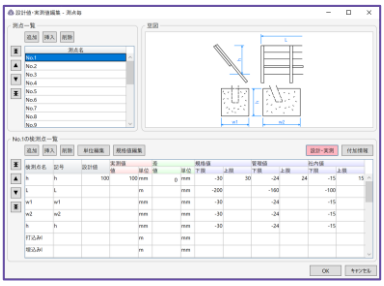
■蔵衛門出来形管理の概要

本棚での管理

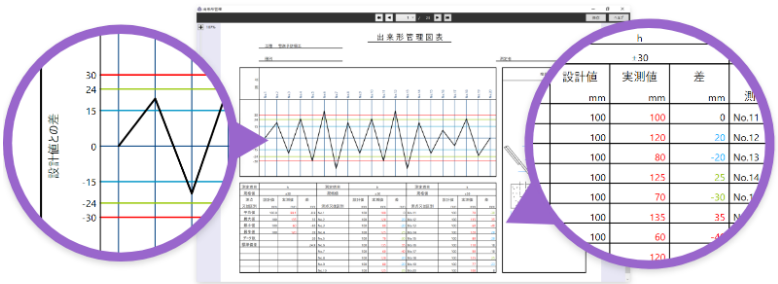
出来形帳票の確認

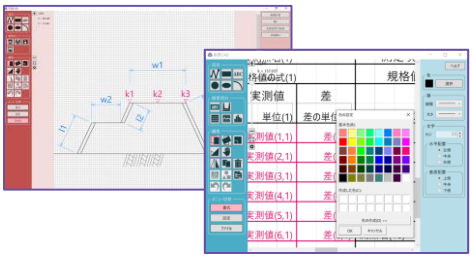


規格値・設計値・実測値の入力



簡易CADによる豆図・帳票のカスタマイズ





本棚画面の説明

本棚画面では、工事写真台帳の本棚と同様に帳票が入っているファイルブックを見ることができます。

1 **メニューボタン：**「工事一覧に戻る」「おしらせ」「ヘルプ」など基本的な機能を使うことができます。

- 同工事の写真台帳側の本棚を表示
- 工事一覧を開く
- マニュアルを表示
- お知らせを表示
- 画面をタスクバーに格納
- ソフトを終了

2 **工事情報：**工事名と工事に設定した要領を確認することができます。

3 **本棚エリア：**出来形帳票を「ファイルブック」「BOX」「仕切り」で管理することができます。

仕切り　複数のBOXやファイルブックを仕切りでまとめることができます。

BOX　複数のファイルブックをBOXでまとめることができます。
ダブルクリックでBOXを開く/BOXを閉じるの操作が可能です。

ファイルブック　構造物ごとに出来形帳票を管理することができます。
クリックでファイルブックが開きます。

空き領域　新規でファイルブックを作成できます。
右クリックで『本棚のメニューシート』が表示されます。

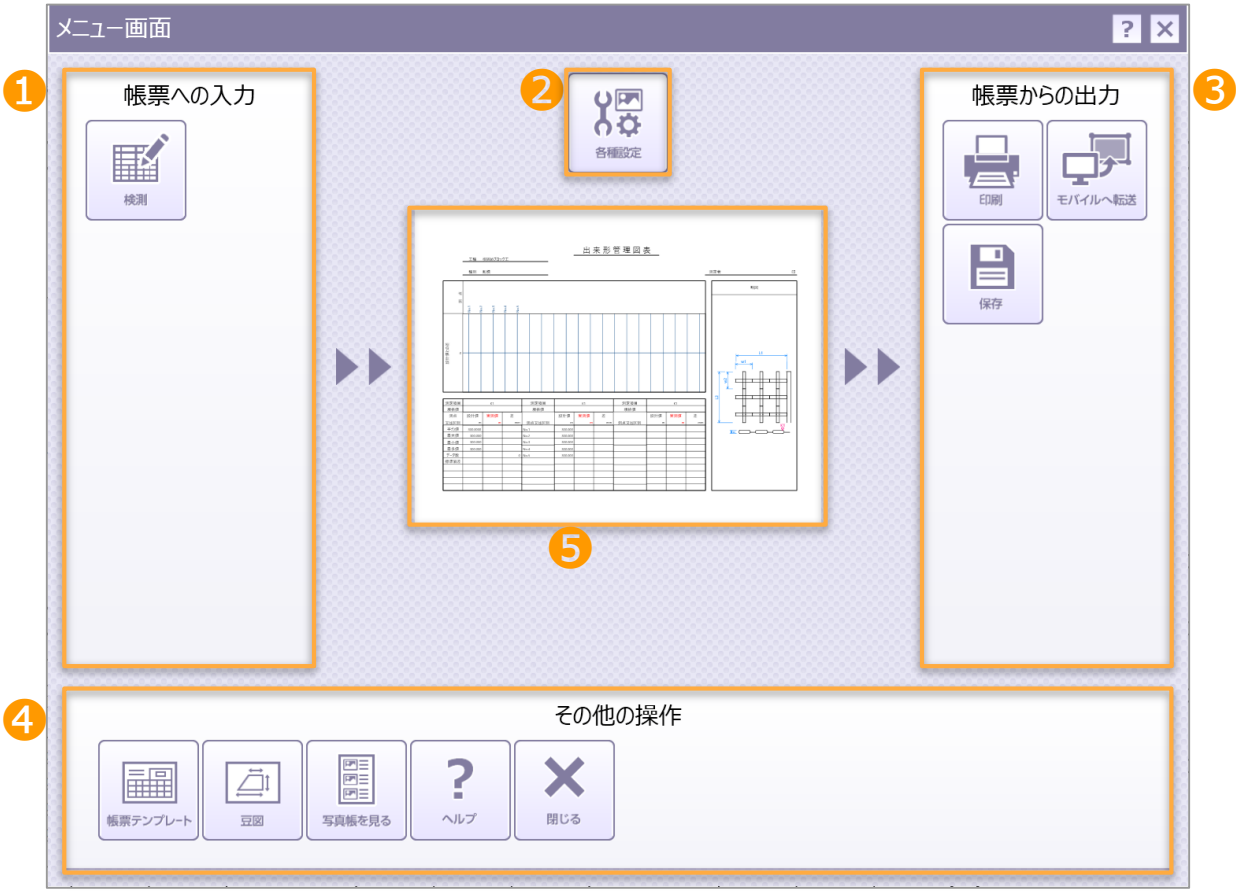
帳票画面の説明

帳票画面では、ファイルブックに設定している帳票や豆図、入力したデータのプレビューを見ることができます。

1. **ページ変更ボタン：**「1ページ前」「1ページ後」など出来形帳票が複数の場合にページを切り替えます。
2. **保存・ヘルプボタン：**帳票で変更した内容を保存します。ヘルプではマニュアルを表示します。
3. **縮尺バー：**「拡大」「縮小」「全画面表示」など、帳票の縮尺を変更できます。
4. **帳票プレビューエリア：**設定した帳票・豆図と入力した値の出来形帳票を確認することができます。
   右クリックでファイルブック用のメニューシートから設計値・実測値の入力ができます。

メニューシート画面の説明

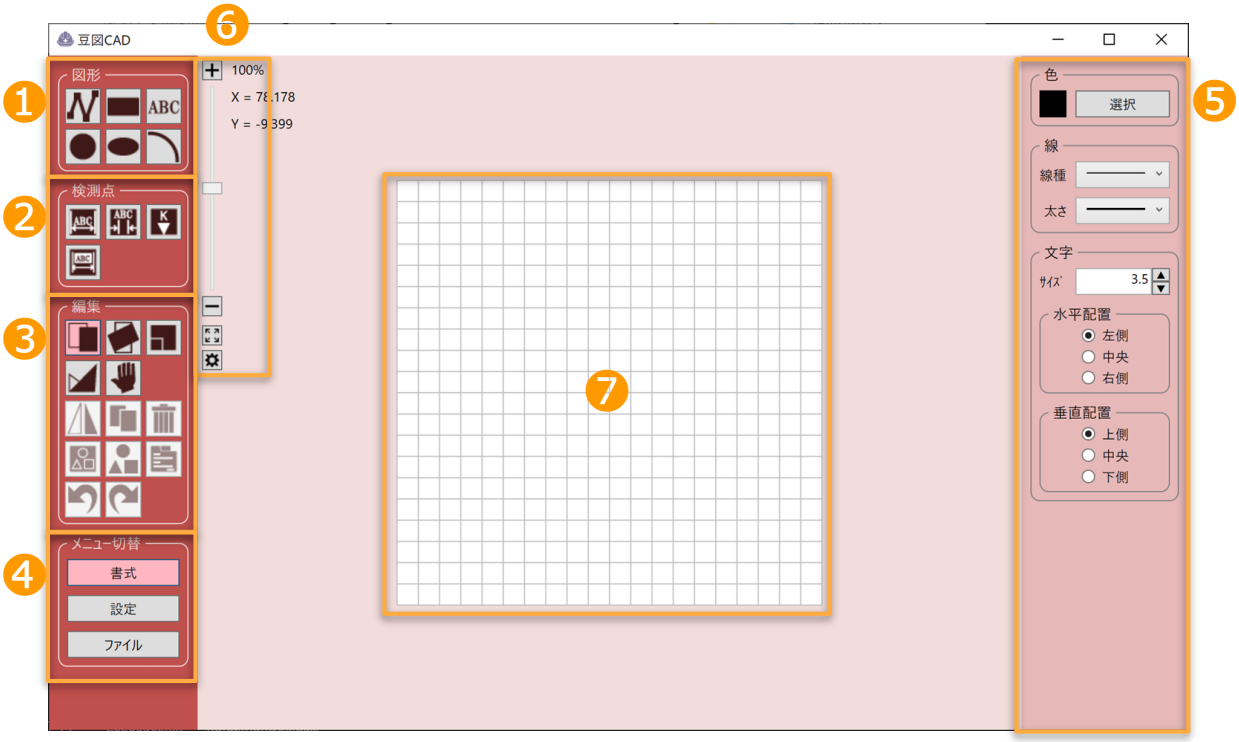
メニューシート画面では、ファイルブックやBOX、本棚など右クリックした対象のメニューを表示します。
右クリックする対象によって表示されるメニュー内容が変化します。



1. **入力エリア：**ファイルブックやBOX、本棚など右クリックした対象の入力メニューを表示します。
2. **各種設定：**ファイルブックやBOX、本棚など右クリックした対象の設定を編集できます。
3. **出力エリア：**ファイルブックやBOX、本棚など右クリックした対象の出力メニューを表示します。
4. **その他の操作：**ファイルブックやBOX、本棚など右クリックした対象のその他の操作メニューを表示します。
5. **プレビュー：**右クリックでメニューを表示した対象をプレビュー表示します。

豆図CAD画面の説明

豆図CAD画面では、既存の豆図の編集や、新規で豆図を作成することができます。



1 **図形フレーム：**「折れ線」「矩形」「文字列」「円」「楕円」「円弧」など描画の方法を選択できます。

2 **検測点フレーム：**「寸法線１・２」「基準高」「検測点編集」など、検測点に関わる描画、設定ができます。

3 **編集フレーム：**選択した文字列や図形に対して以下の編集ができます。
「移動」「回転」「拡大縮小」「変形」「画面スクロール」「左右反転」「複写」「削除」「グループ化」「グループ解除」「プロパティ」「元に戻す」「やり直し」

4 **メニュー切り替えフレーム：**「書式」「設定」「ファイル」の内容で5のサブメニューを切り替えます。

5 **サブメニューエリア：**4で選択した内容のサブメニューを表示します。

書式　線の色や太さ、文字サイズなどを設定できます。

設定　表示領域やグリッドのサイズを設定できます。

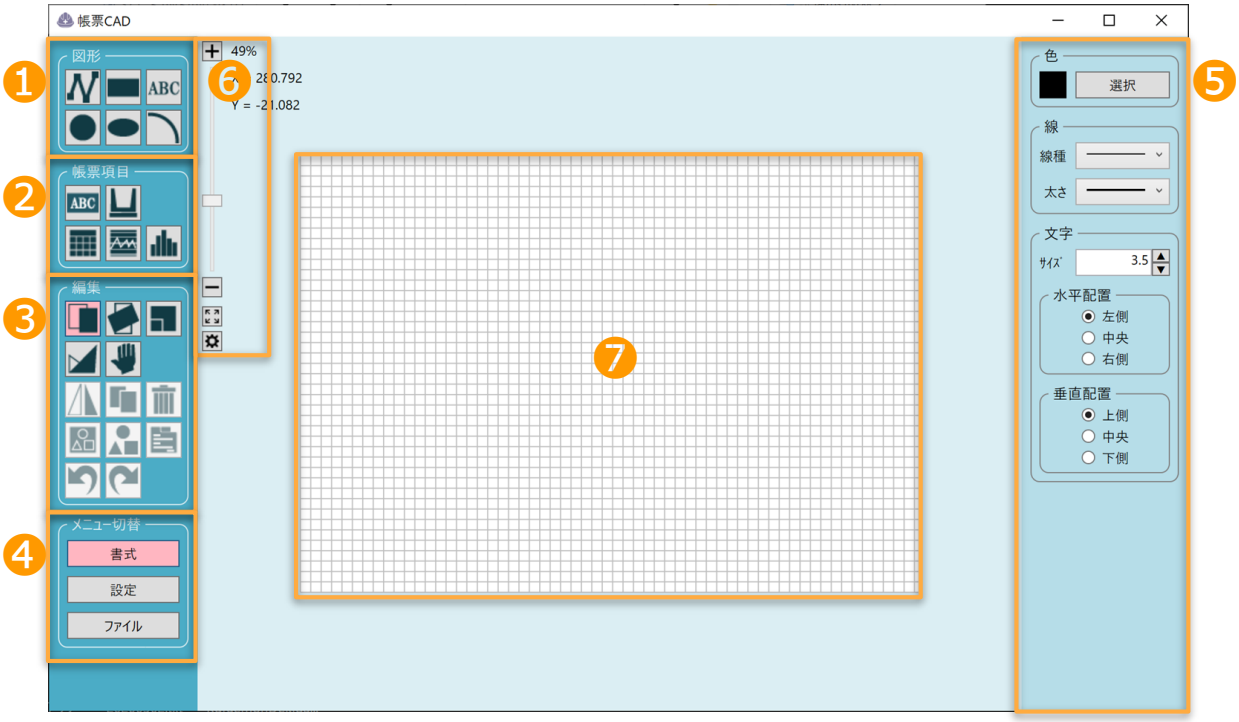
ファイル　現在のファイルブックに保存、テンプレートとして登録ができます。

6 **縮尺バー：**「拡大」「縮小」「全画面表示」など、帳票の縮尺を変更できます。

7 **プレビューエリア：**編集中の「豆図」を表示します。

帳票CAD画面の説明

帳票CAD画面では、既存の帳票の編集や、新規で帳票を作成することができます。



1 **図形フレーム：**「折れ線」「矩形」「文字列」「円」「楕円」「円弧」など描画の方法を選択できます。

2 **帳票項目フレーム：**「工事名」「豆図」「表」「管理図」「度数表」などの描画、設定ができます。

3 **編集フレーム：**選択した文字列や図形に対して以下の編集ができます。
「移動」「回転」「拡大縮小」「変形」「画面スクロール」「左右反転」「複写」「削除」「グループ化」「グループ解除」「プロパティ」「元に戻す」「やり直し」

4 **メニュー切り替えフレーム：**「書式」「設定」「ファイル」の内容で5のサブメニューを切り替えます。

5 **サブメニューエリア：**4で選択した内容のサブメニューを表示します。

書式　線の色や太さ、文字サイズなどを設定できます。

設定　表示領域やグリッドのサイズを設定できます。

ファイル　現在のファイルブックに保存、テンプレートとして登録ができます。

6 **縮尺バー：**「拡大」「縮小」「全画面表示」など、帳票の縮尺を変更できます。

7 **プレビューエリア：**編集中の「出来形帳票」を表示します。

工事を作成する

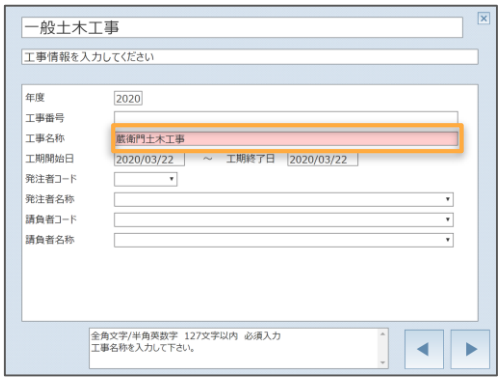
出来形管理の本棚は工事写真台帳と同じ工事で管理されます。
まずは工事を作成しましょう。

1.工事一覧で【工事を追加】をクリックします。

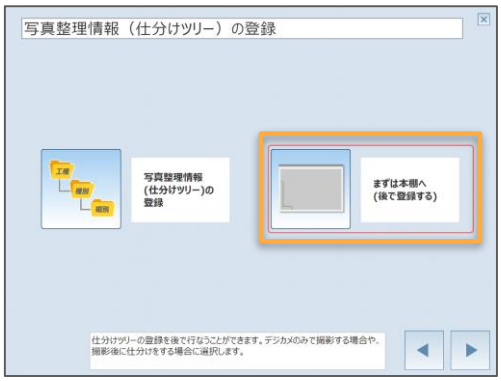
2.工事作成ウィザードが表示されます。
作成する工事の要領を選択して【▶】をクリックします。

※要領が分からない場合は一般土木工事を選択してください。

3.工事情報入力画面が表示されます。
工事名称を入力し【▶】をクリックします。



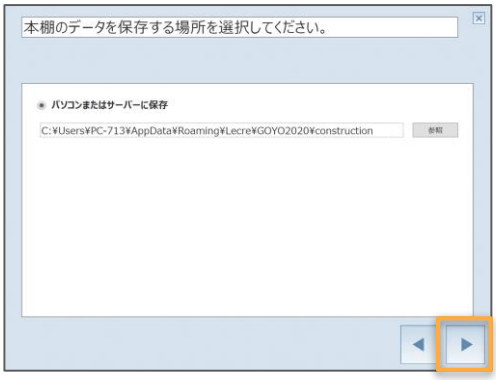
4.写真整理情報の登録画面が表示されます。
『まずは本棚へ』を選択、【▶】をクリックします。



工事を作成する

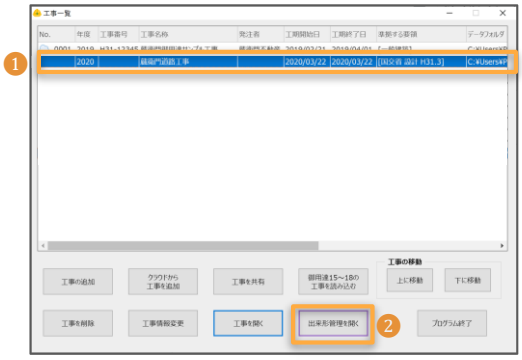
出来形管理の本棚は工事写真台帳と同じ工事で管理されます。
まずは工事を作成しましょう。

5.データの保存場所が表示されるので【▶】をクリックします。



6.工事が作成されて、写真管理台帳用の本棚が表示されます。
【◀ ▶】をクリックします。

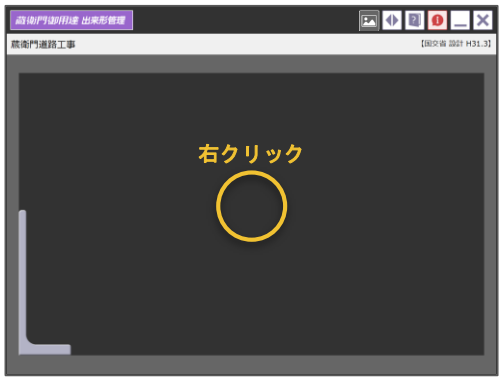
7.工事一覧が表示されます。
出来形管理を使用する場合は、作成した工事名を選択して(❶)【出来形管理を開く】をクリックします(❷)。



ファイルブックを作成する

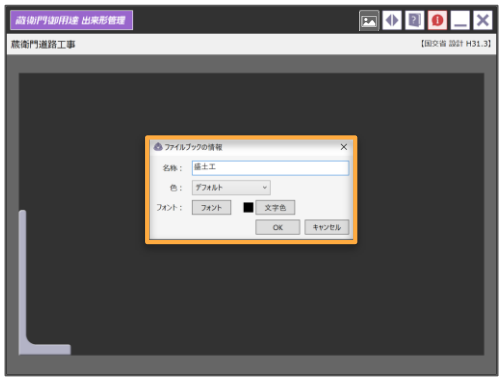
ファイルブックは構造物ごとに管理します。

1.本棚の空き領域で右クリックをします。

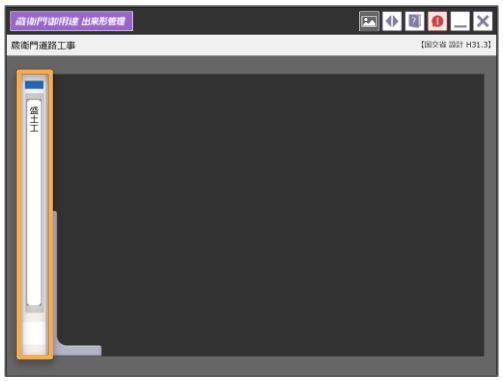


2.本棚の操作というメニューシートが表示されます。
【出来形管理データを作成】をクリックします。

3.ファイルブックの情報が表示されます。
名称の入力欄を編集し【OK】をクリックします。



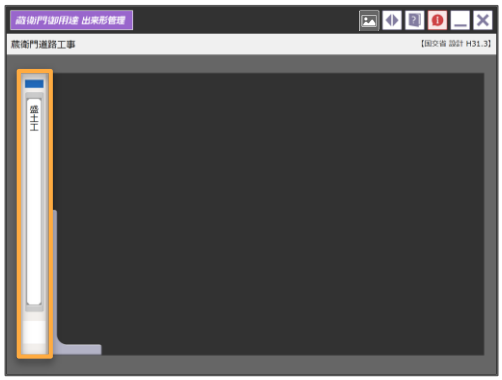
4.本棚にファイルブックが作成できました。
背表紙をクリックすると、ファイルブックを開く
ことができます。



帳票を設定する

ファイルブックを開いた時に表示されるウィザードに沿って、出来形管理帳票のテンプレートを設定します。

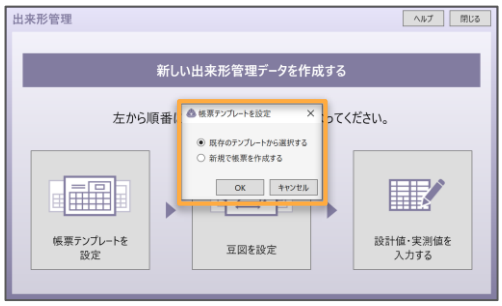
1.ファイルブックの背表紙をクリックをします。



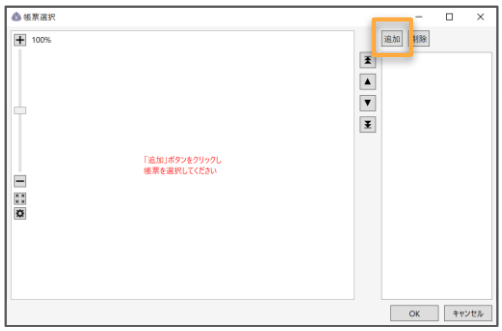
2.新しい出来形管理データ作成用のウィザード画面が表示されます。
【帳票テンプレートを設定】をクリックします。

3.既存/新規のどちらからテンプレートを設定するか選択するダイアログが表示されます。
【既存のテンプレートから選択する】をクリックします。

※既存のテンプレート：国交省土木共通要領のテンプレートから選択できます。
※新規で帳票を作成：帳票CADで新規のテンプレートを作成できます。



4.帳票選択画面が表示されます。
右上の【追加】をクリックします。



帳票を設定する

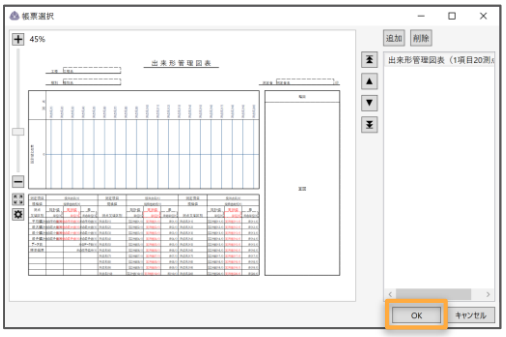
ファイルブックを開いた時に表示されるウィザードに沿って、出来形管理帳票のテンプレートを設定します。

5.左の標準テンプレート項目から帳票を絞り込みます(❶)。帳票テンプレートをクリックします(❷)。【選択】をクリックします(❸)。

※標準テンプレートが表示されていない場合や、共同ライセンスで他の人が作ったテンプレートを使う場合は【クラウドから追加する】をクリックしてください。

6.テンプレートの確認画面が表示されます。【OK】をクリックします。

※帳票の中に複数のテンプレートを設定する場合は再度【追加】をクリックして追加できます。



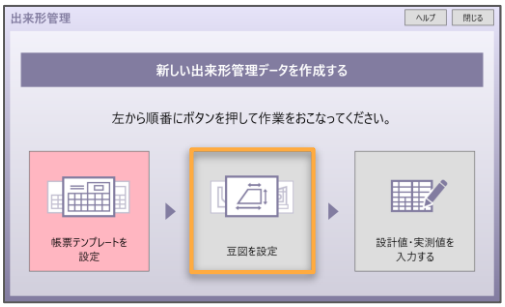
7.再度ウィザード画面が表示されます。【帳票テンプレートを設定】がピンクになっていたら設定は完了です。豆図を設定に進んでください。

豆図を設定する

ファイルブックを開いた時に表示されるウィザードに沿って、帳票に豆図を設定します。

1.ウィザード画面で中央の【豆図を設定】をクリックします。

※ウィザードが表示されない場合はファイルブックを開いた画面で【右クリック> 豆図> 豆図を選択】で豆図の設定が可能です。

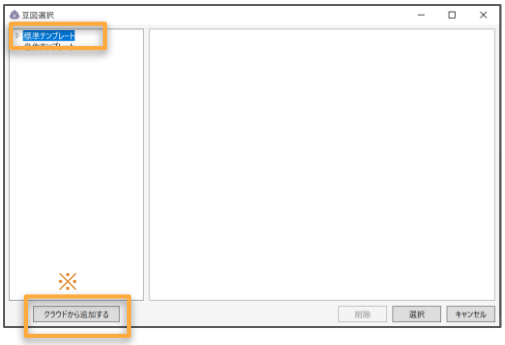


2.既存/新規のどちらからテンプレートを設定するか選択するダイアログが表示されます。【既存のテンプレートから選択する】をクリックします。

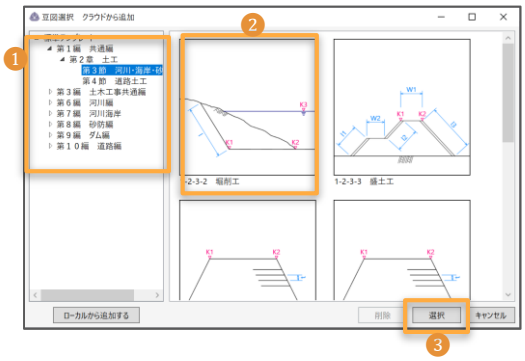
※既存のテンプレート：国交省土木共通要領のテンプレートから選択できます。
※新規で帳票を作成：豆図CADで新規のテンプレートを作成できます。

3.帳票選択画面が表示されます。左上の【標準テンプレート】の▷をクリックして展開します。

※標準テンプレートが表示されていない場合や、共同ライセンスで他の人が作ったテンプレートを使う場合は【クラウドから追加する】をクリックしてください。



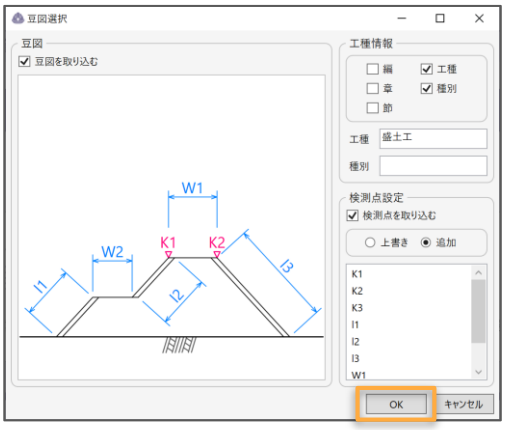
4.左の標準テンプレート項目から帳票を絞り込みます(❶)。豆図をクリックします(❷)。【選択】をクリックします(❸)。



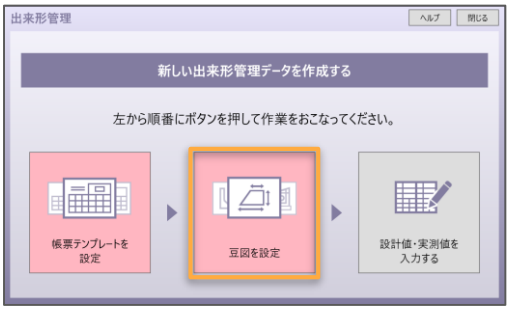
豆図を設定する

ファイルブックを開いた時に表示されるウィザードに沿って、帳票に豆図を設定します。

5.豆図の確認画面が表示されます。
ここで豆図に設定されている検測点などが確認できます。問題なければ【OK】をクリックします。



6.再度ウィザード画面が表示されます。
【豆図を設定】がピンクになっていたら設定は完了です。設計値・実測値を入力するに進んでください。

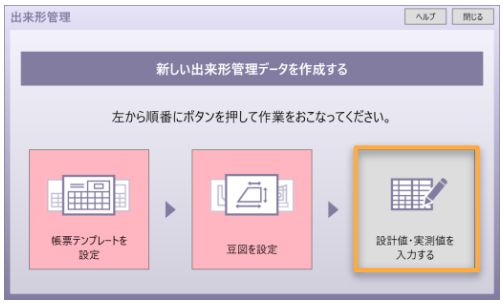


設計値・実測値を入力する

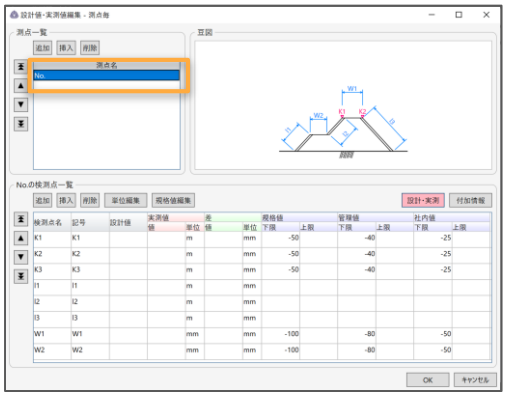
ファイルブックを開いた時に表示されるウィザードに沿って、帳票に設計値・実測値を入力します。

1.ウィザード画面で【設計値・実測値を入力する】をクリックします。

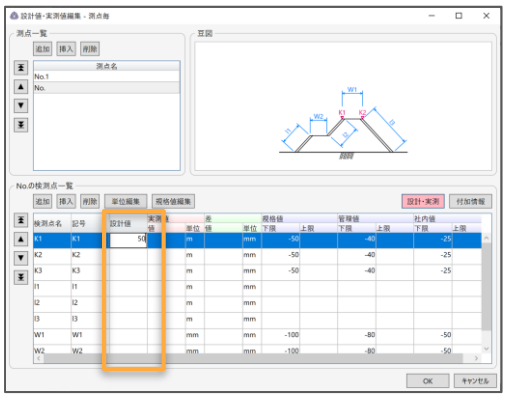
※ウィザードが表示されない場合はファイルブックを開いた画面で【右クリック＞検測＞測点毎編集】で同様の入力が可能です。



2.測点毎の入力画面が表示されます。測点をダブルクリックして測点名を編集します。

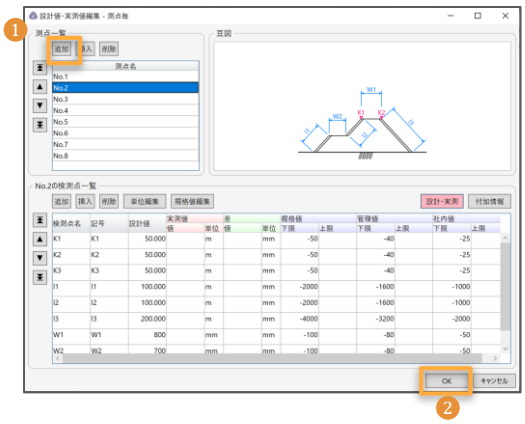


3.検測点ごとの設計値欄をダブルクリックして設計値を入力します。



4.測点一覧の【追加】をクリックして測点を追加します(❶)。測点の追加では、追加を押す際に選択していた測点の、設計値を引き継いで追加されます。必要数の測点を追加できたら【OK】をクリックします(❷)。

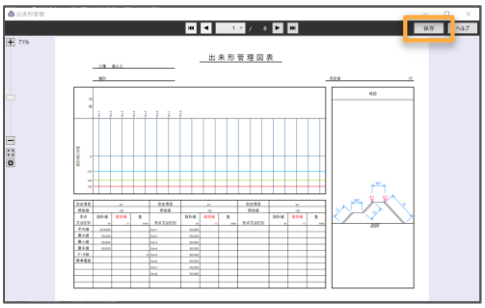
※実測値の測定後であれば、あわせて実測値も入力してください。



設計値・実測値を入力する

ファイルブックを開いた時に表示されるウィザードに沿って、帳票に設計値・実測値を入力します。

5.入力内容が反映された帳票が表示されます。
右上の【保存】をクリックします。

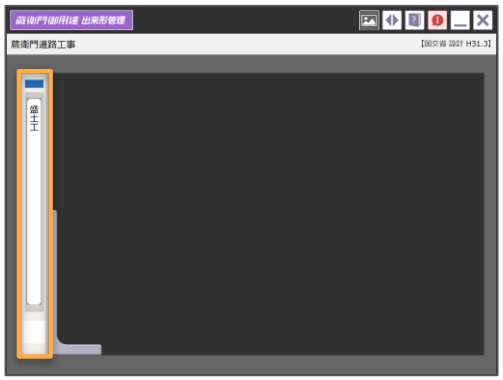


6.『ファイルの保存が完了しました』と表示されます。【OK】をクリックします。
これで帳票の設定は完了です。

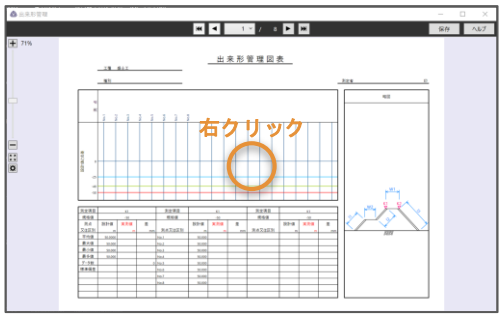
【応用】豆図CADで豆図を編集する

標準テンプレートの豆図を付属の簡易CADで編集します。

1.ファイルブックの背表紙をクリックをします。



2.帳票が表示されます。
帳票の上で右クリックをします。



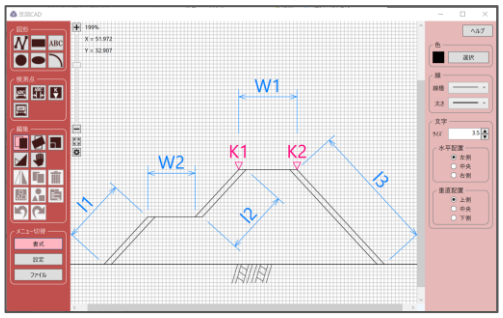
3.メニューシートが表示されます。
【豆図】をクリックします。

4.『豆図を選択』と『豆図CADを起動』の項目が表示されます。【豆図CADを起動】をクリックします。

【応用】豆図CADで豆図を編集する

標準テンプレートの豆図を付属の簡易CADで編集します。

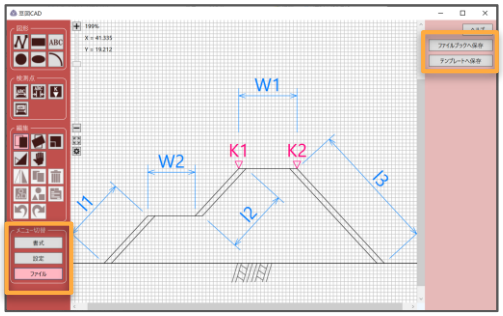
5.豆図CADが起動します。
好みに合わせて豆図を編集します。



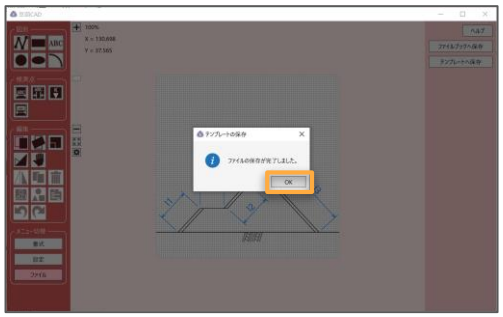
6.編集が完了したら、メニュー切替から【ファイル】を選択します(❶)。
右側のサブメニューが切り替わるので、用途に併せて『ファイルブックへ保存』か『テンプレートへ保存』を選択します。

※ファイルブックへ保存：
豆図を開いたファイルブックにのみ豆図CADの編集が反映されます。

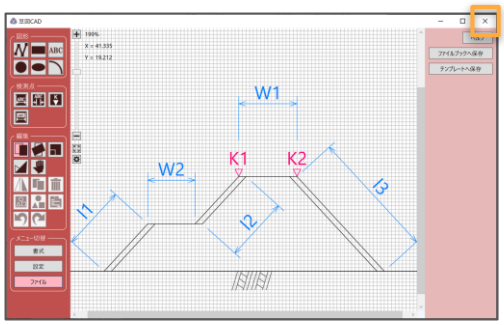
テンプレートへ保存：
豆図を開いたファイルブックと、テンプレートに豆図を保存します。



7.『ファイルの保存が完了しました』と表示されます。【OK】をクリックします。



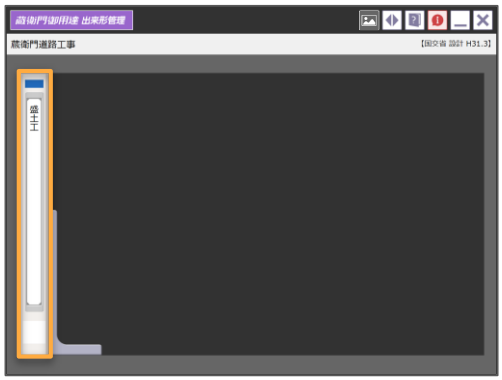
8.【×】をクリックして豆図CADを終了します。



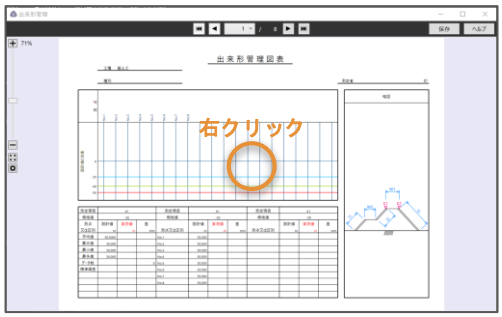
【応用】帳票CADで帳票を編集する

標準テンプレートの帳票を付属の簡易CADで編集します。

1.ファイルブックの背表紙をクリックをします。



2.帳票が表示されます。
帳票の上で右クリックをします。



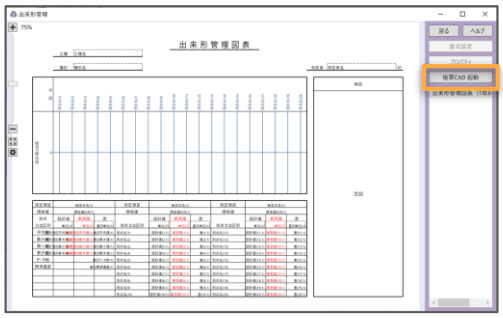
3.メニューシートが表示されます。
【帳票テンプレート】をクリックします。

4.『帳票テンプレートを選択』と『帳票テンプレートを編集』の項目が表示されます。
【帳票テンプレートを編集】をクリックします。

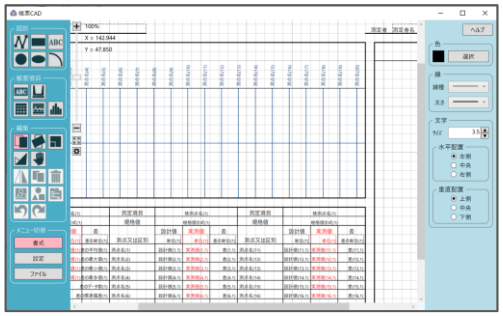
【応用】豆図CADで豆図を編集する

標準テンプレートの豆図を付属の簡易CADで編集します。

5.帳票テンプレートの設定画面が表示されます。
【帳票CADを起動】をクリックします。



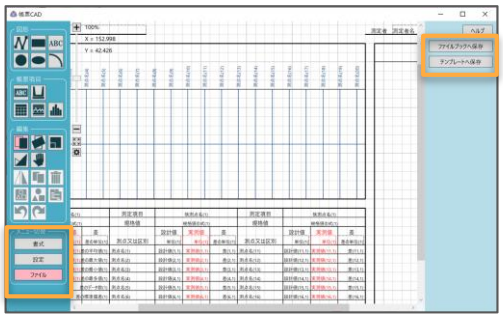
6.帳票CADが起動します。
好みに合わせて帳票を編集します。



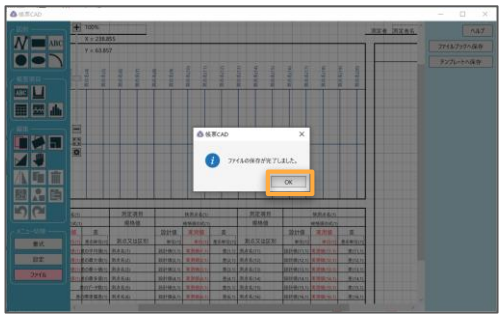
7.編集が完了したら、メニュー切替から【ファイル】を選択します(❶)。
右側のサブメニューが切り替わるので、用途に併せて『ファイルブックへ保存』か『テンプレートへ保存』を選択します。

※ファイルブックへ保存：
豆図を開いたファイルブックにのみ豆図CADの編集が反映されます。

テンプレートへ保存：
豆図を開いたファイルブックと、テンプレートに豆図を保存します。



8.『ファイルの保存が完了しました』と表示されます。【OK】をクリックします。
【×】をクリックして帳票CADを終了します。



お問い合わせ

『蔵衛門出来形管理』に関するご相談・ご質問については、下記へお問い合わせください。

くらえもん☆オンライン

電話番号 ☏ 03-4500-6702

メールアドレス support@kuraemon.com

ホームページ https://www.kuraemon.com/

所在地 〒107-0061
東京都港区北青山1-2-3 青山ビル3F
株式会社ルクレ くらえもん☆オンライン